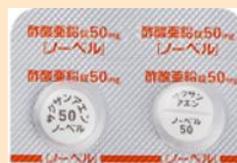


医薬品安全使用ニュース

低亜鉛血症に対する亜鉛製剤投与時の 注意点について

当院採用の亜鉛製剤

- 酢酸亜鉛錠25mg、50mg「ノーベル」
- ノベルジン顆粒5%（院外専用）
- ジンタス錠50mg（診療科限定 ※2025年3月時点）



概要

亜鉛は、腸管において銅の吸収を阻害することから、
亜鉛製剤は銅欠乏症や、銅欠乏に伴う汎血球減少、
貧血や神経障害を起すことがあります^{1,2)}

注意すべきポイント

低亜鉛血症に亜鉛製剤を投与する場合、
銅欠乏に伴う汎血球減少、貧血や神経障害に
注意してください

亜鉛製剤投与中は、血清亜鉛濃度に加え、
定期的に血清銅濃度を測定してください

血中銅値が $20 \mu\text{g/dL}$ 以下を示した症例では、汎血球減少や貧血を含む血液検査値異常や神経障害が併発した症例が顕著に増加しております。血中銅低下時には、過剰な低下が認められる前に、減量や休薬を検討いただき、適切な処置をお願い致します¹⁾

参考資料

1) ノベルジン低亜鉛血症患者に対する適正使用について(2024年12月)

https://nobelpark.jp/wordpress/wp-content/uploads/2024/12/nobelzin_notice_202412.pdf

2) ジンタス錠 RMP資料 低亜鉛血症患者に対する適正使用について(2024年3月作成)

https://nobelpark.jp/product/pdf/zintus_rmp_shizai.pdf